

平成29年度 市有施設のエネルギー使用量

(1) 市有施設のエネルギー使用量の集計

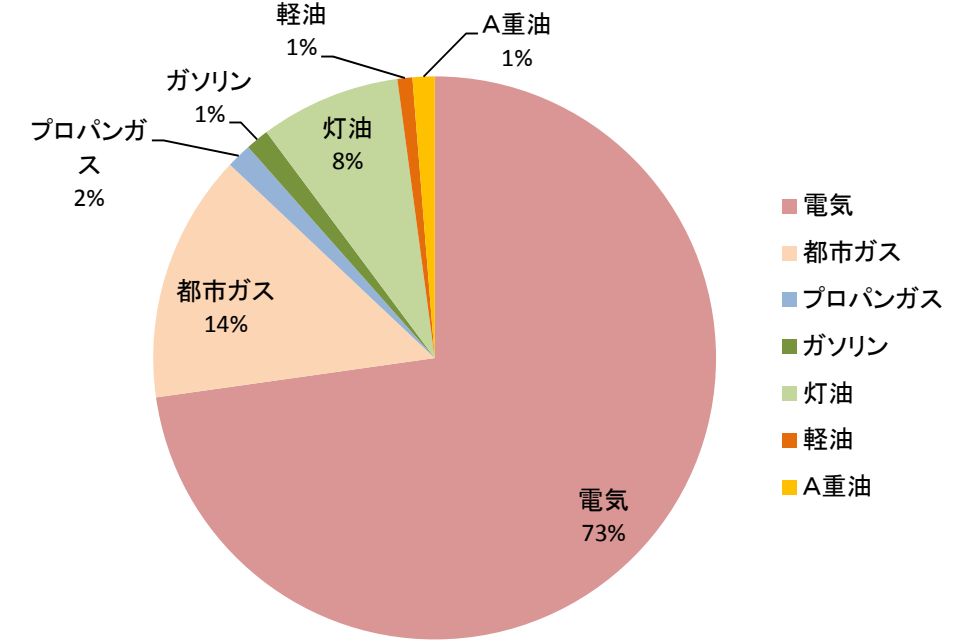
市有施設(庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など:1431施設)における電気、ガス、灯油等と、庁用車(580台)のガソリン、軽油等を集計した。

(2) 市有施設のエネルギー使用量の状況

種類別のエネルギー使用量は、原油換算すると以下のとおり。

種類別	平成29年度 報告使用量	平成29年度 原油換算量(kℓ)	平成28年度 原油換算量(kℓ)	対前年度比(kℓ) " (%)	全体に占める 割合(%)	主な増減の理由
電気	82,762 MWh	21,289	21,164	125 (+ 0.6%)	73%	第四給食センター(通年)、サンマリーンながの(H30.1~プレオープン)稼働による増 篠ノ井市民会館休止(H29.4~)による減
都市ガス	3,758,304 m ³	4,179	3,475	704 (+ 20.3%)	14%	第四給食センター(通年)、サンマリーンながの(H30.1~プレオープン)稼働による増 篠ノ井市民会館休止(H29.4~)による減
プロパンガス	160,223 m ³	418	390	28 (+ 7.4%)	2%	戸隠スキー場、鬼無里の湯などの観光施設の利用客数が増えたことによる増
ガソリン	442 Kℓ	394	384	10 (+ 2.7%)	1%	災害現場の対応による増
灯油	2,496 Kℓ	2,363	2,382	△ 19 (△ 0.8%)	8%	豊野給食センター廃止による減
軽油	256 Kℓ	249	307	△ 58 (△ 18.9%)	1%	下水道汚泥の処理施設(アクアパル)への運搬回数 の減
A重油	366 Kℓ	369	572	△ 203 (△ 35.4%)	1%	第一給食センター休止(H29.9~)による減
合計		29,262	28,674	588 (+ 2.1%)	100%	

平成29年度 市有施設の
エネルギー種類別構成比(原油換算)



【参考】

給食センター、サンマリーンながの、篠ノ井市民会館の特殊要因を除いたエネルギー使用量の状況

(原油換算)

(3) 市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

平成29年度までの市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移は以下のとおり。

年度	使用量 (長野市民病院を含まない)
H25	30,022 Kℓ
H26	29,171 Kℓ
H27	29,542 Kℓ
H28	28,674 Kℓ
H29	29,262 Kℓ

市有施設のエネルギー使用量(原油換算)の推移

